

平成18年度東洋大学予算について

学校法人東洋大学の平成18年度予算が、平成18年3月の理事会・評議員会で承認されました。このうち附属高校を除いた大学予算について、事業計画の基本的視点とその概要をお知らせします。

事業計画の基本的視点

平成17年度より、4キャンパスそれぞれにおいて学部から大学院までの一貫教育が可能となりました。このことを受け、平成18年度は左記を重要な事業とし、総合大学としてのスケールメリットを生かしながら次世代を担う有為な人材の輩出を目指します。

各学部・大学院における、更に独自の特色ある教育・研究の推進
教育内容、方法も含めた教育課程の改善
研究活動の更なる高度化の推進
キャリア形成支援に基づき、卒業時における学生の資質の保証
卒業後の社会的活動に資する施策の実施

事業計画の概要

教育研究関係
平成18年度から開始される事業
白山キャンパスでは経営学部会計ファイナンス学科の新設、並びに学部1・2部の収容定員変更、大学院では、経営学研究科ビジネス・会計ファイナンス専攻の新設、並びに新規開設した大手町サテライトキャンパスにおける経済学研究科公民連携専攻の開設。また、朝霞キャンパスではライフデザイン学部人間環境デザイン学科の新設、さらに、独立大学院として福祉社会デザイン研究科の新設等、新たな教育・研究活動を開始します。

- 一、引き続き行う教学活動の重点項目
 - ・学部・学科、大学院研究科・専攻の教育・研究分野を見直し、規模の適正化ならびにキャンパスの有効利用を検討します。
 - ・大学院における高度専門職業人および高度研究者の養成をより一層実現化するために、その体制整備を継続して行います。
 - ・教育の質の確保に関わる施策を支援、推進します。具体的には以下の内容です。
 - ・英語学力の増進を目的とした、英語特別科目の開設
 - ・学生生活実態調査の実施、および調査結果の教育体制・学生指導へのフィードバック
 - ・キャンパスネットワークの増強による情報環境の充実
 - ・キャリア形成支援の継続的な実施、および就職支援の充実
 - ・幅広いもの見方・考え方の涵養を目的とした、全学総合科目の継続開講
 - ・学生相談の多様化に対応可能な相談体制の確立、およびその充実
 - ・奨学金制度の見直しによる、学生生活および研究活動支援の充実
 - ・障害を持つ学生に対する継続的な支援
 - ・高水準、かつ特色ある研究拠点を形成するため、学外における競争的研究資金の積極的・継続的な獲得を目指します。
- 二、大学院における高度専門職業人および高度研究者の養成をより一層実現化するために、その体制整備を継続して行います。
- 三、教育の質の確保に関わる施策を支援、推進します。具体的には以下の内容です。
- 四、高水準、かつ特色ある研究拠点を形成するため、学外における競争的研究資金の積極的・継続的な獲得を目指します。

- 五、研究成果の社会還元への取り組みを推進します。具体的には以下の内容です。
- ・知的財産センターのサポート体制の充実
- ・ベンチャー企業設立を視野に入れた知的財産活用推進
- ・知的財産の創出・取得・管理・活用を行う体制の整備
- ・研究者データベースの構築に伴う学内シーズ・学内人的資産公開による産学官連携の推進
- 六、教育・研究両面において地域社会との連携をより一層強化します。具体的には以下の内容です。
- 七、学内人材・本施設を活用した市民大学講座等、社会連携プログラムの推進
- ・地域連携による教育・研究活動の継続推進、ならびに特色ある教育活動としての発展
- ・学生・教職員の国際活動を支援するため、協定校に限らず海外の教育・研究機関と連携し、全学的な国際化を推進します。
- 八、FD・SDへの試行的取り組みを支援し、全学への普及を促進すると共に、学生による授業評価アンケート結果の有効活用を図る方策を積極的に取り入れます。

表1 施設事業計画一覧

事業計画	予算額
1 白山キャンパス 東洋大学千駄木外国人学生寮(仮称)【平成18-19年度計画】	469,894
2 板倉キャンパス 板倉既取得校地の未払金の支払【平成13-18年度計画】	1,500,000

- 九、学内人材・本施設を活用した市民大学講座等、社会連携プログラムの推進
- ・地域連携による教育・研究活動の継続推進、ならびに特色ある教育活動としての発展
- ・学生・教職員の国際活動を支援するため、協定校に限らず海外の教育・研究機関と連携し、全学的な国際化を推進します。
- 十、FD・SDへの試行的取り組みを支援し、全学への普及を促進すると共に、学生による授業評価アンケート結果の有効活用を図る方策を積極的に取り入れます。

施設関係
東洋大学千駄木外国人学生寮(仮称)の建設
交換留学生、交換研究員等の受入のために千駄木校地に外国人学生寮を建設します。

情報発信機能の高度化、拡大
インターネットを利用したシラバスや課外講座等の公開、大学出版物のデジタル化によるホームページ上での閲覧など、本学の教育研究活動の国内外への積極的な発信を行います。

また、財務情報や大学評価の結果等、情報公開の手段としてホームページを活用します。

なお、財務情報は下記のページで公開しています。
<http://www.toyo.ac.jp/zaimu/index.html>

予算の収支概要

平成18年度予算を表したのが表3です。主な支出は人件費が146億円、施設事業計画費が20億円、直接・間接経費が88億円で、支出総額は296億円です。

一方、平成18年度の収入を293億円と見積っています。この結果、収支差額はマイナス3億円となり、この不足資金は前年度からの繰越金をもって充当します。

(単位:千円)

内容	予算額
3.国際交流関係	
国際交流のための予算 (語学研修セミナー実施のための経費) (協定校との学生交流経費) (協定校との研究交流経費)	37,194
4 学生生活関係	
学生生活援助のための予算 (各種奨学金) (福利厚生のための経費)	546,728
課外活動援助のための予算 (サークル活動に対する援助) (セミナーハウスの管理運営に係わる経費) (講習会等課外教育に係わる経費)	457,718
5 キャリア形成支援関係	
就職指導・求人開拓に係わる経費 (各種講座・講演会の開催経費) (就職情報収集のための経費) (企業へのPRのための経費)	160,196
6 その他の予算	
広報活動のための予算	93,250
学生募集のための予算等 (大学案内印刷含む)	612,499
井上元了学術記念センターの予算	11,526
学術公開講座のための予算	19,074
事務系情報システム運用等の予算	381,414
教育研究環境及びキャンパス整備のための予算 (施設設備の維持・修繕・取得) (朝霞キャンパス実習指導室整備)	2,382,152
借入金利息及び返済	888,245

表2 主な予算内容

内容	予算額
1 教育研究関係	
学生の学習活動及び実習に係わる予算 (教育用図書・教材の購入など学生の教育活動に係わる経費) (調査実習など特別な教育に係わる経費) (工学部・生命科学部の実験実習経費) (教育実習・博物館実習・福祉・保育現場実習のための経費)	719,232
教員の研究活動のための予算	355,485
研究助成 (研究刊行助成) (研究プロジェクトへの助成) (井上元了記念学術振興基金による助成)	55,000
学術研究推進センター及び研究所の活動のための予算	41,540
バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターの予算	109,490
競争的研究資金獲得による研究支援のための予算 (21世紀COEプログラム補助金研究) (学術フロンティア事業) (学術研究振興資金助成研究) (オープンリサーチセンター推進事業研究) (社会連携研究推進事業)	325,122
学外からの受託研究のための予算等	40,000
課外講座のための予算	9,914
学部等運営に係わる予算	63,830
教育研究活動に直接必要な設備予算 (基幹ネットワークの維持) (教育研究情報ネットワークの維持)	1,309,624
2.図書館関係	
学習用図書・研究用図書等の収集のための予算	315,747
図書館運営管理のための予算	180,859

